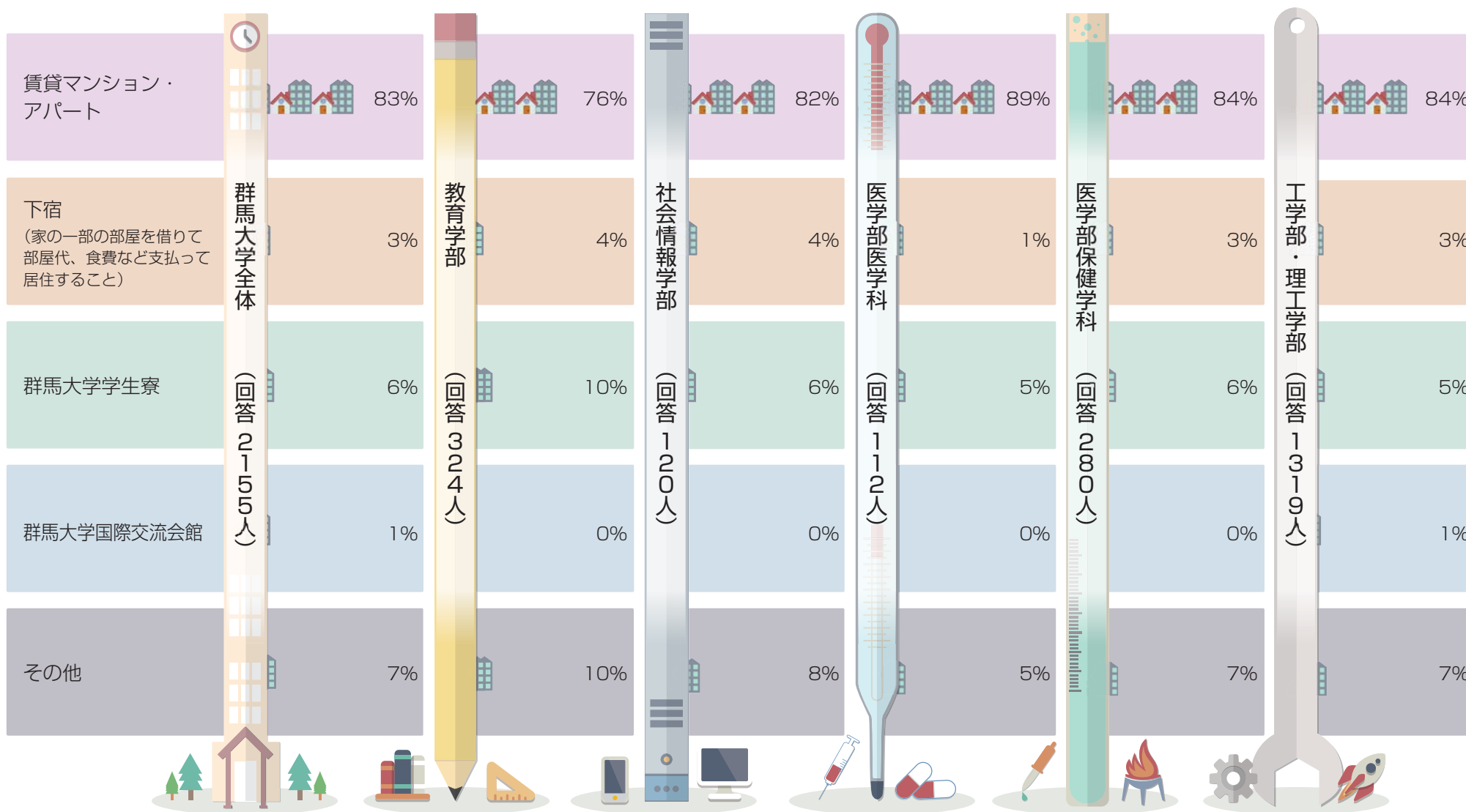
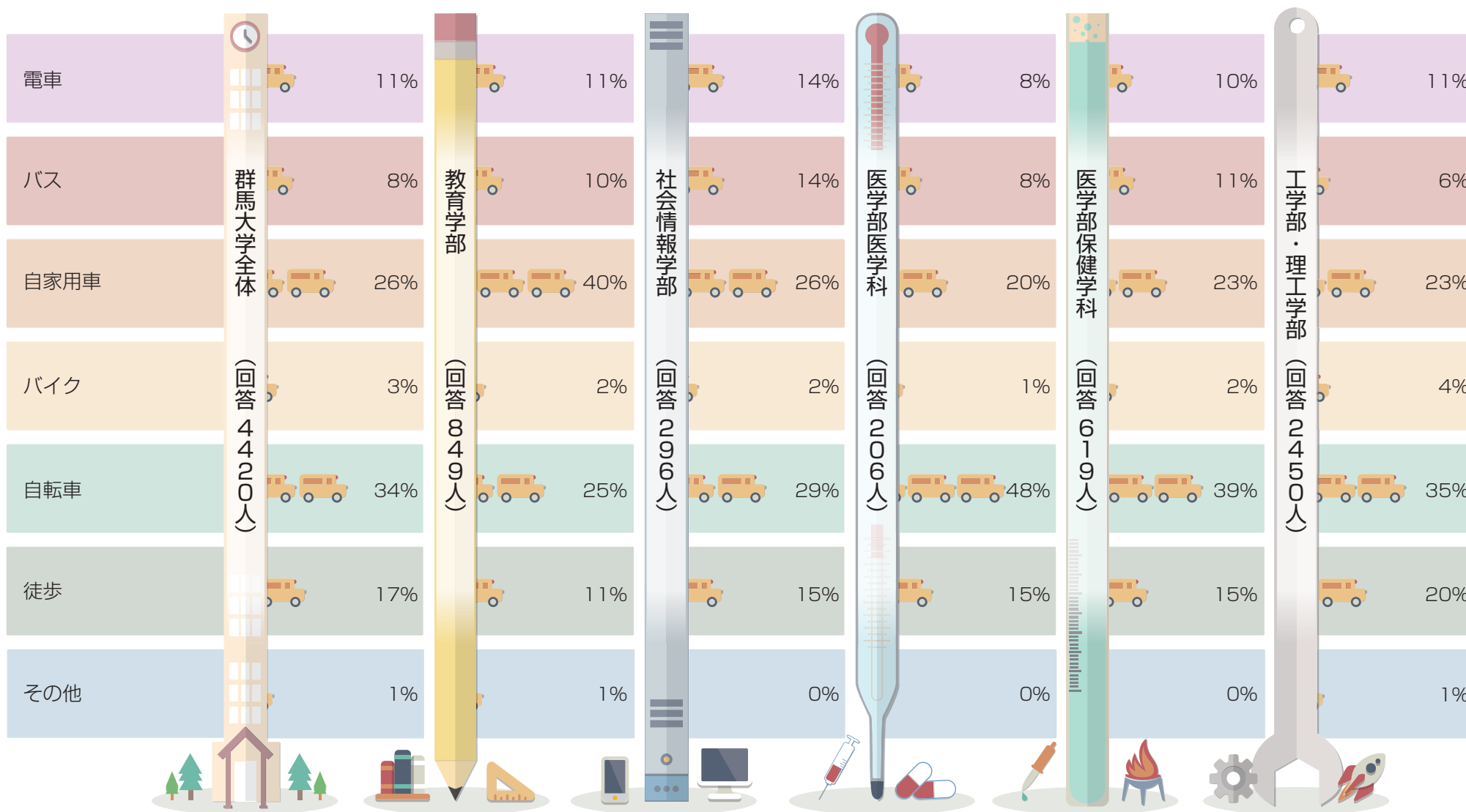


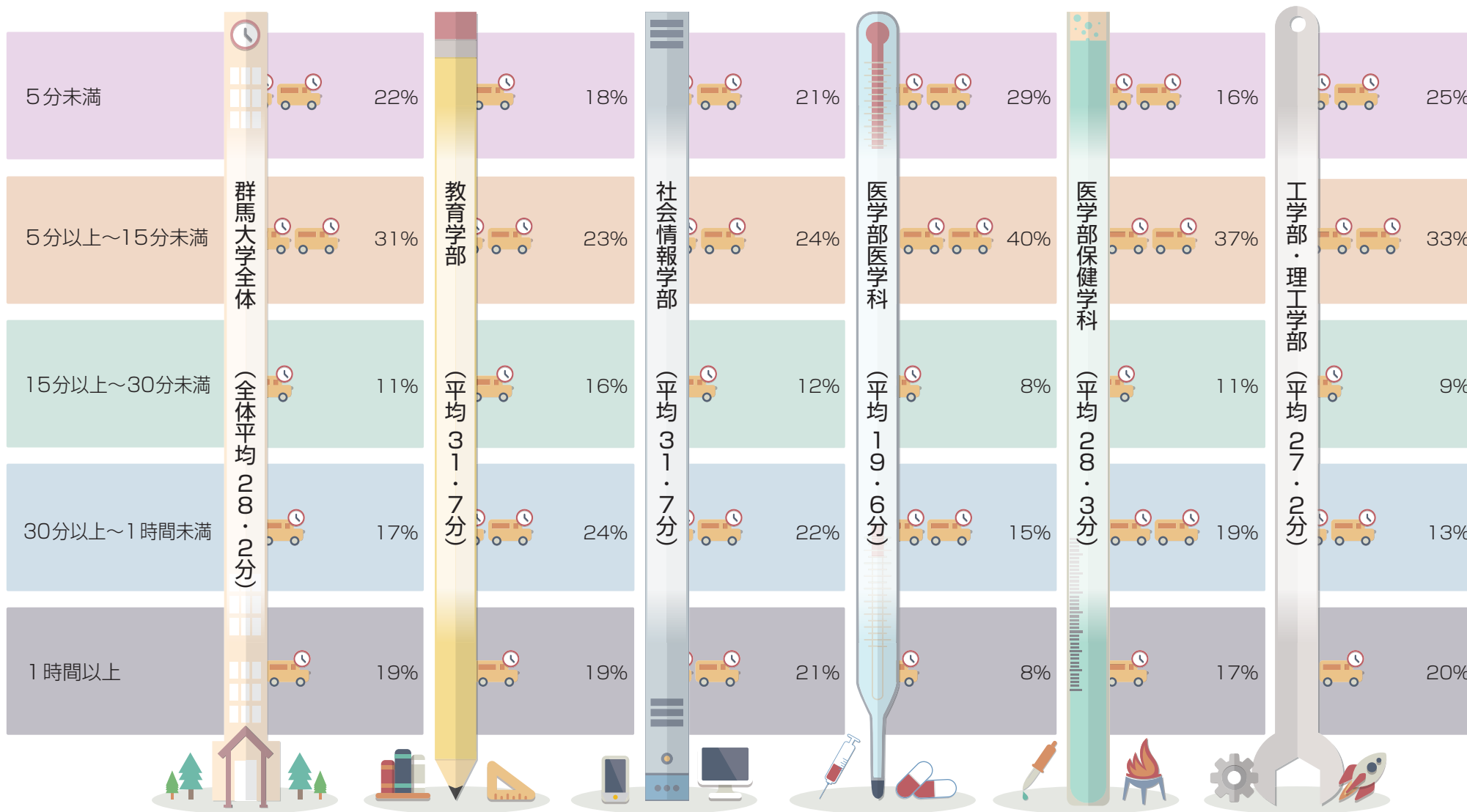
■ 教育学部・社会情報学部では自宅生が半数以上
 ■ 平成20年度と比べて医学科の自宅生増加(25%→38%)が目立つ



- 自宅外の居住はほとんどが賃貸マンション・アパート
- 学生寮も各学部で5～10%と重要な役割を担っている



- 全体としては自転車と徒歩が合わせて約半数を占める
- 遠隔者は平成 20 年度と比べて電車とバスが微増し、その分自家用車が減少



- 平均 28分
- 平成 20 年度と比べて工・理工学部は変わらないが、他学部では3分長くなった
- 通学時間 1 時間以上の比率が増加しているためと考えられる